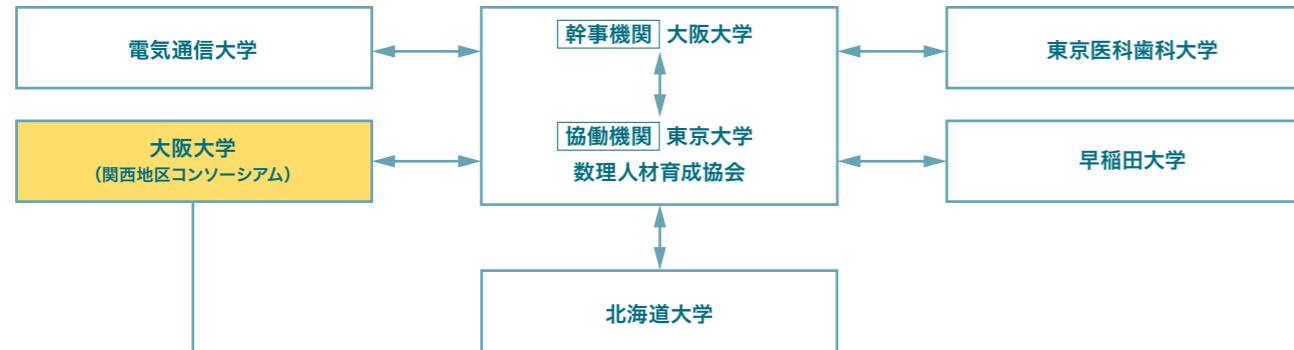


# データ関連人材育成関西地区コンソーシアム実施体制

関西地区はバランスのとれた産業構造で大阪を中心とした大都市消費地域とその周辺地域に優れた企業が位置しています。また産業連関が強く、産業分野を超えた企業間ネットワークが形成されており、医療産業クラスターも存在します。大学においては統計学・情報科学の分野でそれぞれ特色あるデータサイエンス人材育成拠点が存在します。これらを背景に大学・企業・自治体が連携しデータの統合利活用を促進し、データ関連人材の育成と産業の活性化を目指します。

## データ関連人材育成プログラム (D-DRIVE)



産官学連携 関西地区コンソーシアム		関西地区8大学	
大阪大学	数理・データ科学教育研究センター (MMDS) データビリティフロンティア機構 (IDS)	滋賀大学	データサイエンス教育研究センター データサイエンス学部
神戸大学	数理・データサイエンスセンター	奈良先端科学技術 大学院大学	データ駆動型サイエンス創造センター
和歌山大学	データ・インテリジェンス教育研究部門	大阪府立大学	数理・データ科学教育研究センター (MMDS)
京都大学	データ科学イノベーション教育研究センター	大阪市立大学	

国立研究所
理化学研究所AIP
産業技術総合研究所
統計数理研究所
国立情報学研究所

企業・産業界等		
アクサ生命保険(株) ArchiTek(株) 伊藤忠商事(株) 伊藤忠テクノソリューションズ(株) (株)イトーキ 弁護士法人英知法律事務所 江崎グリコ(株) 大阪ガス(株) 大阪精工(株) (株)カウネット 川崎重工業(株) 関西電力(株) (一社)関西経済同友会 協和テクノロジーズ(株) クリロン化成(株) 京阪ホールディングス(株)	コクヨ(株) サラヤ(株) (株)三社電機製作所 塩野義製薬(株) シーホネンズ(株) ジャトー(株) (一社)数理人材育成協会 田辺三菱製薬(株) 中西金属工業(株) 西日本電信電話(株) 西日本旅客鉄道(株) (株)日本経済新聞社 日本生命保険相互会社 日本電気(株) (NEC) パナソニック(株) (株)プロアシスト	(株)堀場製作所 Math Works Japan 丸一鋼管(株) 丸紅(株) 味覚糖(株) みずほ証券(株) (株)三井住友銀行 三井住友信託銀行(株) 三菱電機(株) (株)三菱UFJ銀行 メック(株) ヤンマー(株) (株)りそな銀行

自治体・教育大学
大阪府
大阪市
奈良教育大学
大阪教育大学
京都教育大学
鳴門教育大学
兵庫教育大学

大阪大学 数理・データ科学教育研究センター  
Center for Mathematical Modeling and Data Science, Osaka University  
〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3  
TEL(06)6850-6091 / 8294  
FAX(06)6850-6092  
Email: mmds-questions@sigmath.es.osaka-u.ac.jp  
http://www-mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp

一般社団法人 数理人材育成協会 HRAM  
Human Resource Association of Mathematics  
〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3  
大阪大学 数理・データ科学教育研究センター内(豊中支部)  
TEL(06)6850-8392 Email: info@hram.or.jp  
URL: https://hram.or.jp/



2020年度

# データ関連人材育成プログラム

データ関連人材育成関西地区コンソーシアム  
一般社団法人 数理人材育成協会

# データ関連人材育成プログラムとは

文部科学省平成29年度科学技術人材育成費補助事業「データ関連人材育成プログラム」にデータ関連人材育成関西地区コンソーシアム(代表機関:大阪大学)が選定されました。本事業は、日本が第4次産業革命を勝ち抜く上で求められるデータ関連技術を高度に駆使しデータサイエンスとの掛け算ができる人材(高度データ関連人材)の発掘・育成・活躍促進を一貫して行うことを目的としています。具体的には、高度データ関連人材となり得る人材を発掘し、関連する知識・スキルの習得に加えて、キャリア開発までを一貫して行う取組を支援することで、高度データ関連人材の活躍を促進し、データ利活用社会のエコシステム構築への貢献を目指すものです。データ関連人材育成関西地区コンソーシアムでは、関西地区において大学・企業・自治体が連携し、データ関連人材育成の広域拠点を形成し、データ関連人材の輩出を起点とした産業構造の変革を実現するため、学生および社会人を対象に育成プログラムを提供します。

## 育成プログラムの特色

産官学の連携

公開講座・出前講義

e-Learningの導入

インターンシップ・研修の実施

## 人材育成プログラム

### Aコースカリキュラム

#### A データサイエンス『基礎コース』

ビジネス創出や社会問題解決において、課題設定、データサイエンス全体俯瞰能力向上、データ収集・統合、データ分析、データ解釈の能力を身につけさせる座学講義

##### 価値創造

※何を課題として誰に価値を提供するか

##### 全体俯瞰力

※データ関連知識で何ができるか

##### データ収集・統合力

※データをどう集め統合するか

##### データ分析力

※データをどう見るか

##### データ解釈力

※データをどうやって「情報」にするか

##### 修了者像(能力・スキル)

1. 課題設定力、価値創造能力(ビジネス創出、政策立案など)
2. データ活用能力(データ収集・統合、データ分析、データ解釈)

#### 価値創造サイクルの全体俯瞰力(理解する)

基礎コース『修了証』

### Bコースカリキュラム

#### B データサイエンス『実践コース』

オープンデータ・企業が公開するデータを活用した問題解決型(実践型)Project Based Learning、インターンシップ、共同研究型研修(実習)プログラム

関西地区  
8大学

##### 企業インターンシップ(インタラクティブマッチング)

データサイエンスに興味を持つ若手研究者が企業にインターンとして働く、新たなキャリアパスを支援。学生が企業から与えられた課題に取り組み、企業が求めるものとマッチした場合にインターンシップを実施するインタラクティブマッチングを実施。



##### 共同研究型研修(スタディグループ)

各企業が提供する実際のサンプルデータを使った課題解決型授業を提供。

##### 認定者像(能力・スキル)

価値創造サイクルの全体俯瞰力

+

#### 技術を深掘りする力(使いこなす)

基礎コース『修了証』

データサイエンス『認定証』

※Aコース5単位(座学)とBコース2単位(インターンシップ)を修了した博士課程後期在籍者には認定証とともに奨励金を贈呈します。

#### C 医療データ基礎実践コース

医師・医療従事者が持つ医療データを分析・解析・解釈し、自らの医療スキル向上や学会発表につなげたいというニーズに基づいた短期集中型研修。医療データの収集・統合・分析・解釈の知識・スキルについてのe-Learningと実際の医療への適用についてのe-Learning自習と研修を実施。

共同研究型研修(スタディグループ)

Cコース『修了認定証』

# 各コースの開講科目 2020年度開講科目

Aコース **修了要件** 下記科目から5単位以上修得 ※E-Learning開講 (△)E-Learningあり

科目分類	科目名	実施大学	単位数
数学基礎	データ科学のための数理 <sup>△</sup>	大阪大学	2
	データサイエンス概論	滋賀大学	2
	工学への数値シミュレーション	大阪大学	2
	情報幾何入門	大阪大学	2
統計学	多変量解析	大阪大学	2
	データ科学と意思決定 <sup>△</sup>	大阪大学	2
	数理統計入門	大阪大学	2
	データ科学特別講義	大阪大学	2
	ビッグデータ解析	大阪大学	2
	科学技術のための統計学	大阪大学	2
	確率的グラフィカルモデルと因果推論	大阪大学	2
データサイエンス特別レクチャー	滋賀大学	2	
数理モデル	モデリング基礎理論	滋賀大学	2
	データ科学(機械学習) <sup>△</sup>	大阪大学	2
	スパース推定の数理と機械学習への応用 <sup>△</sup>	大阪大学	2
	データサイエンス特論1	神戸大学	1
機械学習	機械学習特論	大阪府立大学	2
	ニューロサイエンス特論	大阪府立大学	2
	機械学習の実践	大阪大学	2
	機械学習のための数理with R/Python <sup>△</sup>	大阪大学	2
プログラミング	Pythonを用いたデータマイニング入門I・II <sup>△</sup>	和歌山大学	1
	Pythonを用いたテキストマイニング入門 <sup>△</sup>	和歌山大学	1
	Pythonを用いた音響・画像データ処理入門 <sup>△</sup>	和歌山大学	1
	Pythonによる機械学習プログラミング <sup>△</sup>	和歌山大学	1

科目分類	科目名	実施大学	単位数
情報学基礎	ナレッジマネジメント特論	大阪府立大学	2
	人間情報システム特論	大阪府立大学	2
	データサイエンス特論	大阪府立大学	2

#### E-Learning教材のみ

科目分類	科目名	実施大学	単位数
数学基礎	データ科学のための数理I・II	大阪大学	各1
	データサイエンス基礎 II	大阪大学	1
統計学	文系のための統計学	大阪大学	2
	理工系のための統計学I~IV	大阪大学	各1
	データ科学(社会統計I・II)	大阪大学	各1
	データ科学と意思決定I・II	大阪大学	各1
	ベイズ統計学入門	大阪大学	1
	確率的グラフィカルモデルと因果推論	大阪大学	2
	データサイエンス基礎 I	大阪大学	1
Data Science I	大阪大学	1	
数理モデル	数値シミュレーション法 I	大阪大学	1
機械学習	データ科学(機械学習)I・II	大阪大学	各1
	スパース推定の数理と機械学習への応用	大阪大学	1
	ガウス過程と機械学習入門	大阪大学	1
プログラミング	機械学習のための数理とRプログラミング	大阪大学	2
	PythonプログラミングI・II	滋賀大学	各1

Bコース **修了要件** Aコース修了または同等学力の認定および下記科目から2単位以上修得

科目分類	科目名	実施大学	単位数
スタディグループ/インターンシップ	数理・データ スタディグループI~IV	大阪大学	各1
	データサイエンス インターンシップ	大阪大学	2
PBL	数理工学PBL	大阪大学	1
	データサイエンスコンテスト型PBL実習	神戸大学	1
	日本総研x神戸大学 オープンイノベーションワークショップ「金融ビジネスと情報システム工学」	神戸大学	1
	データサイエンス特論2	神戸大学	1

科目分類	科目名	実施大学	単位数
PBL	実践的データマイニング1・2	和歌山大学	各2
	データサイエンスPBL I (データマイニング、バイオデータ解析)	奈良先端科学技術大学院大学	1
演習	共同研究型PBL	各大学	各1
	実践データ科学演習A・B	神戸大学	各1
	教師あり学習	滋賀大学	2
	教師なし学習	滋賀大学	2

Cコース **修了要件** 下記科目から「Cコース スタディグループ」1単位を含む3単位以上修得

科目分類	科目名	実施大学	単位数
数理腫瘍学	数理医学概論	大阪大学	2
プログラミング	医療・創薬データサイエンス プログラミング実習I・II	大阪大学	各1
スタディグループ	CコーススタディグループI~IV	大阪大学	各1
PBL	Cコース PBL	大阪大学	1

#### E-Learning教材のみ

科目分類	科目名	実施大学	単位数
数理腫瘍学	数理腫瘍学I(入門)	大阪大学	1
	数理腫瘍学II(基礎)	大阪大学	1
	数理腫瘍学III(応用)	大阪大学	1
	数理腫瘍学IV(数学)	大阪大学	1
	数理腫瘍学V(実践)	大阪大学	1
	数理腫瘍学VI(中級)	大阪大学	1

#### E-Learning教材のみ

科目分類	科目名	実施大学	単位数
医療統計学	医学統計学各論(線形回帰分析)	大阪大学	1
	医学統計学各論(ロジスティック回帰分析と一般化線形モデル)	大阪大学	1
	医学統計学総論(医学統計学入門)	大阪大学	1
	医学統計学各論(生存時間解析)	大阪大学	1
医療情報学	医療情報公開講座I(生体情報の数理モデリングと統計解析)	大阪大学	1
	医療情報公開講座II(医療情報分析の実践)	大阪大学	1
	医療情報公開講座III(データサイエンスが切り拓く生命科学与生体工学の未来)	大阪大学	1
	医療情報公開講座IV(医療xAI)	大阪大学	1
	バイオインフォマティクス	大阪大学	1

## プログラムの狙いとキャリア開発

《例1》  
A・Bコース

【博士課程学生・ポスドク】工学博士号を取得したがより高度なスキルを身につけて産業界で活躍したい。

課題の捉え方と必要なデータの収集法、分析、解釈の方法を学び、製造業との共同研究型研修で実践力を身につけて、工学+データサイエンスを武器としてキャリアに生かそう。

《例2》  
Cコース

【医学部博士課程学生・医師・医療従事者】医師としてデータ活用力の向上を図りたい。医療データを活用できる医師はこれからの社会で求められる存在。新しい医療機器・サービスにも関わりたい。

座学はe-Learningで学び、医療関係者にフォーカスした短期集中型のPBLでスキル・知識を身につけよう。企業への共同研究提案も可能。医師であることは医療データ活用分野では即戦力。「すぐに使える」データサイエンス技術を短期間に学べる。

### 《受講対象者と募集予定数および履修登録について》

A・Bコース

学部生、修士課程学生、博士課程学生、社会人

Cコース

医学系および数理情報系の大学院学生、研究者、医師、医療従事者

【募集予定数】  
全コース合わせて  
**70名**

A・B・Cコース同時受講が可能。詳細は <http://www-mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/> でご確認ください。履修登録については、<https://duex.jp/> で登録してください。社会人の方はe-Learningコンテンツ自習と研修で認定証を発行します。受講については一般社団法人 数理工材育成協会(TEL.06-6850-8392)までお申し込みください。

## 奨励金制度について

協定校の博士(後期)課程に在籍する学生で、下記条件をすべて満たした者の内、成績順上位者に対し、奨励金を支給します。

条件

- ◆協定校の博士(後期)課程に在籍していること
  - ◆上記課程在籍中にAコースの座学として開講する科目等およびBコース科目「データサイエンス インターンシップ」を修了すること
- 複数年で修了の場合も対象となります。